

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所

【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)

HD銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【大連支店】

中国のコーヒー事情について

1. はじめに

中国ではゼロコロナ対策がとられています。各地で新型コロナウイルスの感染者が多く出ています。大連でも昨年末に多くの新型コロナウイルス感染者が出たことから、全市民を対象としたPCR検査、飲食店の営業停止等、厳しい行動制限措置が執られました。室内で過ごす時間が増えたこともあり、コーヒーを飲む機会が増え、どこのコーヒーメーカーが美味しいといった話を聞く機会も多くなりました。今回は、近年急速に消費量が増加し、世界的にも存在感の増してきた中国のコーヒー市場について紹介致します。

2. 中国のコーヒー市場

従来、中国はお茶の国であり、海外のコーヒーチェーンが中国に進出するまで、コーヒーはあまり一般的に飲まれるものではありませんでした。飲むとすれば、最初から砂糖とミルクが入ったインスタントコーヒーで、いわゆる「挽きたてのコーヒー」を飲む習慣はなかったようです。

そのような中、1999年に「スターバックス」が進出して以降、徐々にコーヒー文化が浸透し始めました。現在では都市部の若年層を中心にコーヒーを嗜む人が増えてきており、日本と同様に、朝食時や仕事中にコーヒーを飲む習慣のある人もいれば、勉強の効率アップのために飲む人、カフェ店で店内の雰囲気を楽しみながらリラックスすることを楽しむ人もいます。

統計によると、中国のコーヒー市場は2013年の約156億元（約2,817億円）から2018年には約569億元（約1兆276億円）と急速に拡大しており、今後も堅調に推移していくことが予想されています。なお、2020年末時点で上海には6,900店以上のカフェ店舗があり、ニューヨーク、ロンドンなどを上回り、世界一カフェ店舗が多い都市となったとのこと。

自宅で飲む際に人気なのはブラックタイプのインスタントコーヒーで、あまり時間のない若年層に好まれているようです。また、昨年頃から濃縮液タイプのカプセル式コーヒーの人気が出てきており、夏場には氷と水を混ぜることでアイスコーヒーとして飲む人を多

く見かけました。なお、自宅でコーヒーメーカーを使ってドリップコーヒーを淹れる人も多くなってきているようですが、まだまだ少数派のようです。

コーヒー豆の価格帯は安いものであれば、500gで50元（約900円）程度から購入することができ、カフェ店で購入する場合、店によってはその場でコーヒー豆を挽いてくれます。コーヒー豆はブラジル産、コロンビア産など、海外から輸入したものが多いですが、中国産のコーヒー豆の取扱も増えてきています。中国でのコーヒー栽培は20世紀初頭からスタートしており、産地としては南部の雲南省が大半を占めています。中国産コーヒーは酸味・苦味等のバランスが取れていて非常に飲みやすいことが特徴です。ECサイトを利用して簡単に購入することができますが、価格帯は海外産と比較して高価なものが多いようです。

3. 「カフェ店」「小売店」「ECサイト」の紹介

中国では、主に「カフェ店」「小売店」「ECサイト」でコーヒーを購入することができます。

まず、「カフェ店」について紹介しますと、中国で最も有名なのは、やはり「スターバックス」で、中国では「星巴克（シンバーカー）」の名前で親しまれています。去年は新たに650店舗をオープンし、店舗総数は5,300店を超えました。売上高もここ5年間で30%増と、新型コロナ禍であるにもかかわらず、好調をキープしています。おしゃれな店内で飲むことはもちろん、デリバリーで指定場所までコーヒーを宅配してもらうことができるため、多くの中国人の支持を得ています。

中国企業としては「瑞幸珈琲（Luckin Coffee）」が急速に店舗数を拡大させています。「瑞幸珈琲（Luckin Coffee）」のビジネスモデルは、オンラインで注文して、実店舗またはデリバリーで商品を受け渡す形で、実店舗はコーヒーを飲む場所ではなく、コーヒーを淹れて渡すことに特化した場所としており、店舗の賃料・人件費などのコストを削減させ、安価で美味しいコーヒーの提供を実現しています。また、豊富な種類のコーヒーを楽しむことができ（カフェラテだけでも10種類超のメニューがあります）、スマートフォンの専用アプリで注文することで、受取時間もわかり、時間のロスが少ないとの特徴から着実に店舗数を増やしており、設立から4年程度であるにもかかわらず、店舗数はすでに5,000店舗を超えています。大連市内でも様々な場所に店舗を構えており、マンション内など一般的な商業スペース以外でも見かけることができます。

その他大手企業としては、マクドナルドがマックカフェ



マンション敷地内にある「Luckin Coffee」店舗
【筆者撮影】



マックカフェのブラックコーヒー
【筆者撮影】

を展開し、1杯13元（約230円）でブラックコーヒーを提供するほか、カフェラテ、カプチーノ（どちらも19元・約340円）などを販売しています。またケンタッキー・フライド・チキンでも「Kcoffee」のブランド名で1杯15元（約270円）からブラックコーヒーを提供しています。

次に、小売店について紹介します。当店近隣にあるスーパーでは、様々な種類のコーヒー関連商品が販売されており、日本ブランドのインスタントコーヒー、10個セットのドリップパックコーヒー、コーヒーと一緒に楽しむためのお菓子（日本からの輸入商品も多くあります）など様々です。また、筆者は大連に住んで約3年になりますが、着任当初と比較して、コーヒー関連商品の専門スペースが2倍以上に広がりました。さらに、価格帯も着任当初は日本と比べるとかなり高価な商品ばかりでしたが、現在では買い求めやすい商品も増えてきた印象です。

また、コンビニでは日本と同様に淹れたてのコーヒーを飲むことができるようになりました。ローソンでは、各店舗に専用のドリップマシンを設置しており、いつでも美味しい淹れたてのコーヒーを提供してくれます。夏場にはアイスコーヒーも飲むことができ、商品のラインナップも年々増えてきています。価格帯もアメリカンコーヒー8元（約150円）、カフェラテ、カプチーノは10元（約180円）と手頃な価格で購入でき、出勤時や勤務中に多くの人々が愛飲しています。また、缶コーヒーやインスタントコーヒーも販売されており、日本と同じように気軽に購入することができます。

ECサイトでも簡単に購入することができます。ECサイトで「咖啡」と検索をすると、コーヒー豆、ドリップパックコーヒー、ブラックタイプのインスタントコーヒー、ミルクと砂糖入りのインスタントコーヒー、カプセルに入った濃縮液タイプのコーヒーなど様々な商品が出てきます。なお、日本ブランドの商品も比較的多く目にすることができます。コーヒーにおいても「メイドインジャパン」商品は品質が良好で、価格帯も比較的購入しやすいとのことで人気があるようです。ただし、日本で販売している商品をそのまま販売するのでは、パッケージが地味ということで、中国仕様のきらびやかなパッケージで販売されているケースも多いようです。

4. 大連市内のローカルカフェ

中国の口コミサイト「大衆点评」で当店から徒歩10分圏内でコーヒーを提供する店舗を検索すると20店舗以上あるなど、大連市内で美味しいコーヒーを飲める店舗が、ここ最近増えてきた印象があります。また個人経営で雰囲気のよいカフェも多く見つけることができます。

例えば、当店近隣にある個人経営のカフェ店では、1杯23元（約420円）のアメリカンコーヒー、26元（約470円）のカフェラテ等、さまざまなコーヒーを提供するほか、コーヒー豆やドリップパックコーヒーを販売しています。コーヒー豆はインドネシア産などの豆を、大連市近郊の工場焙煎



「大衆点评」の検索画面

したものを利用しており、500gあたり60元（約1,080円）から、ドリップパックコーヒーは8元（約140円）から販売しています。同店では、ドリップパックコーヒーが非常に人気であり、店内で飲んで美味しかったことから、帰り際にテイクアウトするお客さんも



個人経営カフェ店のメニュー表
【筆者撮影】



個人経営カフェ店内
(複数のコーヒー豆から好きな豆を選択できる)
【筆者撮影】

多いようです。

5. おわりに

中国の経済力の高まりと合わせて、コーヒーに対して興味を持つ消費者、更には品質に対して高いこだわりを持つ消費者が増えてきています。

中国国内における一人あたりコーヒー消費量は日本と比較するとまだまだ低い水準にありますが、近い将来世界のコーヒー市場を席卷する可能性も十分にあり得ると考えられます。

山口銀行大連支店では、様々な中国ビジネスに関するサポートを承っております。是非お気軽にお問合せください。

(山口銀行大連支店 吉村 裕和)

【参考文献】

- ・ 中商情報網：

https://mbd.baidu.com/newspage/data/landingshare?context=%7B%22nid%22%3A%22news_8722390373860684902%22%7D&isBdboxFrom=1&pageType=1&rs=124680555&ruk=C2cjhdhp1aKT8hPQjiPnt5w

- ・ スターバックスホームページ：

<https://www.starbucks.com.cn/about/>

- ・ APP「大衆点评」
- ・ APP「淘宝」
- ・ APP「瑞幸咖啡」